

**東京書籍教科書 検討の観点と内容の特色**

書名	教番	英語ライティング Power On English Writing	2東書・英W 043
項目	観点	特色・具体例	
1. 内容の選択・程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習指導要領、教科の目標を達成するため必要な教材が適切に用意されているか</li> <li>* 基礎的・基本的事項の理解や習得のため適切な配慮がなされているか</li> </ul>	<p>○全体はPre-Lesson, Part 1、2、3の4つのパートで構成されている。Pre-Lesson では文を組み立てることから始める。Part 1は基本的文法事項に焦点をあて、Target や暗唱例文を模倣して書くこと、Part 2は機能別表現を取り入れながら実際の場面に応じて書くこと、Part 3はまとまりのある英文を書くことが目標として位置付けられている。</p> <p>○全体的にトピックを高校生の身近なものに設定し、書く際に生徒が発想しやすいようになっている。Part 2では言語の具体的使用場面が豊富に盛り込まれており、「書くこと」の実践的コミュニケーション能力の育成に配慮した内容となっている。</p>	
2. 組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 内容の組織・配列は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか</li> <li>* 分量は学習指導を有効に進められるように考慮され・精選されているか</li> </ul>	<p>○Part 1では学習者に負担がかからないよう、それぞれのLessonで扱う文法事項は1、2項目に絞られており、かつ文法事項はライティングに役立つ、という観点から精選されている。また、学習内容は、全体を通して易⇒難の配列となるよう配慮されている。</p> <p>○各Lessonは見開き2ページ構成。Part 1、2、各Lessonの見開きでは、モデル文の提示、文法・表現の暗唱例文、文法・表現の練習、トピックに関連した情報の発信、という手順で配列されており、その課の学習の流れや到達目標が一目でわかるようになっている。</p>	
3. 表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 学習意欲を高めるための配慮がなされているか</li> <li>* 用語・記号の取り上げ方や記述のしかたは適切か</li> <li>* 印刷の鮮明さ、活字の大きさ、行間、製本などは適切か</li> </ul>	<p>○学習者の意欲・関心を高めるような落ち着いたデザインである。イラスト・写真は学習内容に直結したものとなっている。</p> <p>○文法事項に関しては、用語を示すにとどまらず、例文を豊富に掲載している。パンクチュエーションやカードの書き方などに関しても、コラムでわかりやすく解説されている。</p> <p>○重要な箇所は活字を太くするなど、学習者の便宜を図ってある。印刷は鮮明かつ製本は堅牢である。</p>	
4. 総合所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴</li> </ul>	<p>○学習者が興味・関心を持ってライティングに取り組めるよう、映画のサマリーや広告の作成など幅広いトピックを取り入れ、かつ「書く活動」が必然性をもつ場面が設定されている。</p> <p>○タスクはsemi-controlledを基本とし、添削指導・評価を行いやすい教科書である。</p>	